

# Kanayamachi Rakuichi

## 金屋町楽市 in さまのこ 芸術文化学部地域連携プロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 武山 良三



平成24年末、金屋町は「<sup>いもじ</sup>鑄物師の町」として重要伝統的建造物群保存地区に認定されました。これを受けて平成25年度の「金屋町楽市inさまのこ（以下 楽市）」は、同事業が一層住民主体型の取り組みになるよう、実行委員長に金屋町自治会の加藤昌宏氏を選出し、企画を根本から考え直しました。

開催テーマについては、金屋町が高岡銅器発祥の町であり、職人達がものづくりに込めてきた心意気を今一度見直すべきであるという議論の中から「<sup>iimonodo</sup>いもんど」に決まりました。「<sup>imono</sup>鑄物」に限らず「<sup>imono</sup>良いもの」をつくっていくための「<sup>do</sup>志（道）」という意味が込められています。今まで以上に高岡鑄物との関わりを深めるため、伝統工芸高岡銅器振興組合の嶋安夫理事長を実行委員会に迎え、同会員による展示やワークショップに関する支援を要請しました。

展示方法も大きく見直しました。楽市では、平成23年度から文部科学省の特別経費「芸術文化を起点とした実践的教育モデルの構築（愛称「つままプロジェクト」）」が採択され、高岡市の予算と合わせて実行経費を確保してきましたが、平成26年度末でこのプロジェクトが終わることから、平成27年度以降の縮小された予算でも楽市が円滑に実施されるよう、アルミ製什器に頼らない展示方法に取り組みました。

屋外展示はすぐに代替が困難であることからアルミ製什器を使いながら、屋内ではその数を減らしてできる限り町屋にある家具を活用する展示方法に切り替えました。また、展示花器に花を生けて見せるなど「<sup>使い手</sup>使い手」の立場に立った展示を行い、新たな楽市らしさの創出に努めました。住民が、楽市が終わった後も自分達で花を生けられるようなモデル展示を目指しました。

その指導者として長野県伊那市を拠点に活動されている花人・唐木さち氏を招聘しました。唐木氏は『一日一花』の著者である川瀬敏郎氏に師事し、流派に捕らわれずできる限り自然な花をあしらった作品づくりを信条とされている方です。作品集『野の花をいける』には、通常の花器以外に農具などをを用いた作品が紹介されてお

り、これまでの生け花のイメージを広げてくれます。唐木氏には、高岡銅器を代表する大澤光民氏の花器への生け込みや、お茶席「<sup>すおう</sup>蘇芳の席」の導入部に設置された花屏風の飾り付けを依頼しました。

唐木氏は8月に金屋町を下見された際に能作の変形できる錫製品「KAGO」を「これに生けてみたい」と購入されました。楽市当日、ひとつはアクリルのベース板とガラス製グラスを組み合わせて蓮が生けられ、またひとつは小布施堂の栗ジャムが入っていた硝子瓶を「KAGO」で包み、栗を生けて吊されました。予想もしなかったアレンジに驚かされるばかりでしたが、「<sup>使い手</sup>使い手」が創造性を発揮することで、ものの可能性が広がることを示す印象深い展示となりました。

金屋町は平素は静かで落ち着いた佇まいを見せていますが、その中にはものづくりの伝統や地域特有の文化が隠されています。楽市のようなイベントは、普段は隠れている文化資源を引き出し、あらためてその価値を知らせる、あるいはそれらに新たな命を吹き込むような機会としていかなければなりません。楽市での取り組みが住民や来訪者の気づきに繋がり、芸術文化が普段の生活に反映されていく。楽市がそのような役割を担っていることを再確認できた年になりました。



変形できる錫製品「KAGO」を花器として使われた「<sup>使い手</sup>使い手」の技



## 主な開催内容

### ● 記念フォーラム：

#### Part 1 「暮らしの*iimonodo*」

実施日 : 9月20日(金)

午後6時30分～午後8時

実施会場 : 宗泉寺

主旨 : 生活の中に花を取り入れること通して、豊かさや日本人の感性、器の用と美について考える。

出演者 : 唐木さち(花人)

大澤光民(鑄金家・人間国宝)

武山良三(富山大学芸術文化学部学部長)

参加者 : 約90人

#### Part 2 「まちへ*iimonodo*」

実施日 : 9月21日(土)

午後6時30分～午後8時

実施会場 : 宗泉寺

主旨 : 平田さんの鍛金に関するユニークな取り組みを紹介しながら、クラフトの魅力、それが行われる街の魅力について考える。

出演者 : 榊田隆一郎(岩瀬まちづくり会社社長)

平田淳(鍛冶Fuigo 代表)

古池嘉和(富山大学芸術文化学部教授)

参加者 : 約70人

### ● ゾーンミュージアム

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)

午前10時～午後6時(22日は午後5時)

実施会場 : メイン会場:高岡市金屋町石畳通り周辺

通行量調査: 2日間で約24,000人

作品展示・販売

出展者 : 91名

作品総数 : 約2,400点

売り上げ : 約134万円(820点)

### ● コンペティション「第4回金屋町賞」

対象者 : 18歳～35歳の作家29人

審査員 : 加藤昌宏、貴志雅樹、武山良三、古池嘉和、横山天心、野田雄一、村上潤、高川昭良

審査結果 : 金屋町楽市大賞 北村三彩(ガラス)

金屋町楽市賞 保木詩衣吏(ガラス)

金屋町審査員特別賞 青木有理子(金工)

金屋町審査員特別賞 今池七重(木工)

### ● 金屋町茶会 *iimonoiro*

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)

午前10時～午後4時30分(一客一亭は午後5時)

席名・場所: 席名/席主/会場

ろくしょう 緑青の席/楽市茶道部/於: 金森藤平家

すおう 蘇芳の席/般若陽子/於: 般若家

しゃくどう 赤銅の席/小泉昇/於: 小泉家

かたりや 金糸雀の席/学生茶道部/於: 緑地公園

一客一亭・金屋町地内5箇所

来場者 : 380人

### ● 金屋町きもの通り

○ 浴衣特別レンタル

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)

午前10時～午後3時

実施会場 : 金屋町石畳通り

参加者 : 和装モデル200人、貸衣装利用者22人

○ ファッションショー「KANAYAコレクション」

実施日 : 9月21日(土) 午前15時半～

実施会場 : 金屋町石畳通り

内容 : 花結帯とハイカラMIXの二種類のコーディネートによる着物のファッションショーを実施。

参加者 : 和装モデル18人、司会2人



### ● 食のイベント

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 午前10時～午後6時(22日は午後5時)  
 実施会場 : フジチュウ駐車場、鑄物資料館第三展示室、  
 藤田家ガレージ

内容:(場所・出店者)

- ・甘味処(鑄物資料館第3展示室・金屋町自治会婦人部)
- ・Café(藤田家ガレージ・和風カフェ次元)
- ・屋台ブース(フジチュウ駐車場・OSTERIA TAIKI、noce、  
オステリア タイキ ノーチェ  
 Jacasse高岡店、いちごいちえ、ホテルニューオータニ高岡  
ジャカッセ  
 フード、シンネコノテヨシコウゾウ賑猫手慶行蔵、たこまる小梅、あしつきふれあいの郷)

### ● 土産物認定

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 午前10時～午後6時(22日は午後5時)  
 内容 : 金屋町等の店舗の商品を認定(店舗名/分野)  
 ・湯葉屋はじめ/湯葉・豆腐・クッキー  
 ・山元醸造/味噌・醤油  
 ・大寺幸八郎商店、鉄瓶屋、フジチュウ/洋菓子・和菓子

### ● 瓦版の発行

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 発行回数 : 5回(各100部)  
 内容 : 来客者に向けて町家への注意事項などを掲載する。常時見られるように、会場の2ヶ所にパネルを作って瓦版を掲示。  
 声の瓦版 : 6回(11時、13時、15時×2日間)  
 内容 : 町内放送機器を用いた声による情報提供。

### ● 学生バンドの演奏

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 実施場所 : フジチュウ駐車場前、金屋緑地公園  
 演奏回数 : 4回

### ● 鑄物のワークショップ

実施日 : 9月21日(土)  
 実施場所 : 三角公園  
 実施者 : 高岡伝統産業青年会  
 参加者 : 30人

### ● とんぼ玉のワークショップ

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 実施場所 : 金屋本町石畳通り  
 実施者 : 富山ガラス工房  
 参加者 : 110人

### ● 風車のワークショップ

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 実施場所 : 金緑地公園  
 実施者 : 富山大学芸術文化学部学生会  
 参加者 : 130人

### ● 金箔貼りのワークショップ

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 実施場所 : 山田家  
 実施者 : 伝統工芸高岡銅器振興協同組合  
 参加者 : 20人

### ● 観光客への案内

実施日 : 9月21日(土)、22日(日)  
 午前10時頃、午後2時頃  
 内容 : 鑄物資料館第2展示室において町なみを考える  
 藤グループが観光ガイドを実施した。

### ● さまのご寄席

実施日 : 9月14日(土)午後16時～  
 会場 : 宗泉寺  
 出演者 : 三遊亭遊馬、春雨や風子  
 参加者 : 51人



## 金屋町楽市 in さまのこ iimonodo

【開催期間】平成25年9月21日・22日

【来場者数】24,000人

【主催】金屋町楽市実行委員会

〔委員長〕金屋町自治会 代表：加藤昌宏

〔副委員長〕金屋町自治会 代表：般若陽子

〔副委員長〕富山大学芸術文化学部 教授 貴志雅樹

〔副委員長〕富山大学芸術文化学部 教授 武山良三

〔委員〕

富山大学芸術文化学部 教授：古池嘉和

富山大学芸術文化学部 講師：横山天心

東京大学 教授：隈研吾

金屋町自治会 代表：佐野正平

金屋町自治会 代表：嶋田一成

金屋町自治会 代表：関弘子

富山ガラス工房 館長：野田雄一

金沢卯辰山工芸工房 館長補佐：村上潤

伝統工芸高岡銅器振興協同組合：嶋安夫

茶道 敷内流：小久保瑛子

茶道 裏千家：小泉昇

高岡商工会議所 産業振興部長：上田耕一

高岡市観光協会 総務部長：宮林照男

高岡市商業雇用課 課長：楠達男

高岡市生涯学習課 課長：放生稔

高岡市デザイン・工芸センター 所長：高川昭良

〔学生委員〕

富山大学芸術文化学部：高橋由佳/澤口志帆

〔総合キュレーター〕

高岡市魅力発信アドバイザー：伊東順二

【協力】金沢卯辰山工芸工房、高岡伝統産業青年会

【事務局】金屋町楽市実行委員会事務局

(高岡市産業振興部商業雇用課/高岡市観光協会)

【後援】富山県/株式会社北日本新聞社

【協賛】三協立山株式会社/三芝硝材株式会社/

和楽庵/藤岡敦子礼法きもの学院

田政春/中村孝富/般若保

【展示什器協力】隈研吾建築設計事務所/

三協立山株式会社/

三芝硝材株式会社/

富山大学芸術文化学部学生

【出展者】推薦作家：

大澤光民/大桃沙織/黒田昌吾/SHIMOO DESIGN/

野田雄一/畠春齋/藤居奈菜江/橋原万葉

+HANNARI project

公募作家：

青木啓作/榎浅川製作所/あさくらやよい/(有)湯

島アート/伊藤成二/市川篤/今池七重/岩本清商店

/上田レイ子/大澤真琴/川上真子/ガラススペース

GLASABON/北村彰文/杉島大樹/中荒江道子/布実花

や(中川香織)/(有)フォレスト/土方杉久(久生)

/藤井由香里/藤岡光一/福田昭一/前沢幸恵/松下純一

/松本尚子/宮崎愛/森和彦

金澤職人塾：

太田正伸/大竹外司郎(喜信)/岡田正/奥田勝也/

小波/定池隆志/鶴見晋史

金沢卯辰山工芸工房：

浅野恵理子/有永浩太/石永知美/白岩玲子/半田濃史/

保木詩衣吏

富山ガラス工房：

市川知也/岩瀬明子/内田悠介/梶原朋子/川辺雅規/河

原林洋行/北村三彩/熊谷峻/小島有香子/齋藤裕史/

佐々木俊仁/佐野猛/佐野曜子/小路口力恵/白藤晴久/

竹田舞由子/中村敏康/野口知恵子/平野絹子/廣瀬絵

美/藤岡和典/松下祥子/光井威善/山本詩子/吉田尚代

/和田修次郎

高岡市デザイン・工芸センター：

青木有理子/花嶋伊都子/ハヤシ製作所(梅基司紗)/

山本瑞生/サクライマキ/齊藤慎二/内島正雄/中島ゆ

り恵/中山裕晃/島谷好徳/榎高田製作所/榎能作/榎織

田幸銅器/榎二上

伝統工芸高岡銅器振興協同組合：

織田幸銅器(榎)嶋安/金谷由和/河原孝博/京田政春/

中村孝富/般若保